

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成 29 年度第 1 回相模原市市史編さん審議会				
事務局 (担当課)		博物館市史編さん班 電話 0 4 2 - 7 5 0 - 8 0 3 0				
開催日時		平成 29 年 8 月 3 1 日 (木) 午後 2 時 ~ 4 時 3 0 分				
開催場所		相模原市立博物館 小会議室				
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	5 人 (博物館長 他 4 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 会長及び副会長の選出について</p> <p>(2) 平成 28 年度市史・町史編さん事業の実施状況について</p> <p>(3) 平成 29 年度市史・町史編さん事業について</p> <p>(4) 市史編さん体制について</p> <p>(5) その他</p> <p>4 閉会</p>				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言)

1 開 会

2 あいさつ

博物館長あいさつ

3 議 題

(1) 会長及び副会長の選出について

委員の互選により、正・副会長を次のとおり選出した。

- ・会長 樋口雄一 委員
- ・副会長 中村洋子 委員

この後、樋口会長が議長となり、議事が進められた。各議題について、資料に基づき事務局から報告・説明し、それぞれ質疑応答を行った。

(2) 平成 2 8 年度市史・町史編さん事業の実施状況について (資料 1)

町史文化遺産編に係る調査で、興味を引く調査対象や、新しく発見された事案等はあったか。

例えば、青野原地区・井原寺では、聖観音立像 (市指定文化財) が非常に良好な状態で保存されていることが確認できた。また、又野地区・圓蔵寺では、普段は表に出していない弘法大師像を確認できたことなど、多くの収穫があった。

町史編さん事業で、文化遺産部会の祭事調査の項に「どんど焼き」と表記してあるが、地元では昔から「団子焼き」という呼称を使用している地域も多いと思われる。呼称については、民俗学的見地からも慎重に検討してほしい。

このような意見をいただいたことを、執筆担当者にお知らせする。

町史講演会を 3 回にわたり開催しているが、どの回も参加者が多く、喜ばしい。参加者は、津久井の地元の人が多いのか。

講演会の際に、参加者をお願いしているアンケートによると、緑区在住の方が多い傾向が強い。

議題 (2) については、以上でよろしいか。(了承)

(3) 平成 2 9 年度市史・町史編さん事業の実施状況について (資料 2 ~ 7)

市史編さん事業の刊行物で『別編』の販売形態は、書籍と C D - R O M をセットで販売する予定か。

書籍と C D - R O M は別々に販売し、販売価格も違う予定である。

『別編』の C D - R O M については、利用者が使いやすいように作成してほしい。

C D - R O M には、本編の本文記載内容を P D F ファイルで載せる他、一部の表等についてはエクセルファイルで掲載するなど、活用しやすいよう検討していきたい。

町史文化遺産編の第 5 章第 2 節に挙げた建築物は、どれも現存している物か。

青山水源事務所 (旧事務所)、中野監視哨、尾崎弔堂記念館などは現存している。一方、旧神奈川県養蚕取締所中野支所は津久井郷土資料館として活用されていたが、施設の老朽化により解体予定である。また、青根公民館も老朽化により解体され、青根小学校は焼失してしまった等、現存しないものもある。

議題 (3) については、以上でよろしいか。(了承)

(4) 市史編さん体制について (資料 8 ~ 1 0)

事務局から補足説明。

平成 2 9 年度をもって市史、町史の刊行計画が完結することになり、その後の市史関係事務の執行体制をどのようにすべきかについては、事務局としても検討中である。

今後の、市史編さん体制のあり方について、審議会のご意見を伺いたい。

市史の刊行が終わった後も、市史編さんに伴い収集した膨大な資料を残す必要があり、そのための担当部署も必要である。

今後も、適切に資料を収集・整理・保存していかないと、時間の経過とともに散逸してしまう危険が大きい。今まで市史編さん業務を担当しており、歴史資料の収集保管にも携わっている博物館を担当部署として、市史関係資料の収集・整理・保存業務を行なっていくのが良いと考える。

市史関係資料は何十年もかかって収集している。また、今後も日々新しい資料

が追加されることであろう。このような資料の収集・整理・保存事業を継続していくことが重要であり、相模原市役所の事業として行うべきである。市史の刊行終了とともに市史関係事務担当部署を無くすことには反対である。

当審議会は、将来にわたって市史をどうするか、ということについて考える責任がある。

政令市として、市史関係資料の収集・整理・保存事業を行なう機関を設置しておくことも必要と考える。この機関は、市民の歴史学習・歴史教育へ貢献し、郷土理解を助長し、市民の歴史的感性をはぐくむ文化装置となることが期待される重要な物である。

委員の意見をまとめ、要望書や意見書等を提出すべきと考える。

(会長)

委員各位の意見は、市史関係資料の収集・整理・保存事業を行なう部署を存続すべき、ということで一致を見た。また、このような審議会委員の意見をまとめた意見書等を作成し、市に提出するため準備していくということによろしいか。

(承認)

議題(4)については、以上によろしいか。(了承)

以 上

相模原市市史編さん審議会委員出欠席名簿

(任期：平成29年7月31日～平成31年7月30日)

平成29年8月31日 平成29年度第1回審議会 出席者名簿

氏名	関係役職名	出欠席結果
岡田 万里子	学識経験者(桜美林大学准教授)	欠席
高村 敦子	学識経験者(元相模原市立中央中学校教諭)	欠席
千葉 宗嗣	市民公募委員	出席
中島 聡	市民公募委員	出席
中村 洋子	学識経験者(大野南公民館長)	出席
長澤 敬子	学識経験者(元相模原市立くぬぎ台小学校長)	出席
奈良 雅之	学識経験者(元相模原市立北相中学校長)	出席
樋口 雄一	学識経験者(元神奈川県立公文書館郷土資料課長)	出席
守屋 浩之	学識経験者(津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員)	出席
矢野 英明	学識経験者(元帝京大学教職大学院客員教授)	出席

出席者 計8名